

【様式1】 平成28年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	土岐市	学校名	土岐市立濃南中学校		
校長名	齋木 孝明	対象学年	全学年	人数	57人
活動名	中馬の時間	時間数	第1学年(14時間) 第2学年(14時間) 第3学年(17時間) 全校(1時間)	継続年数	12年以上
題材	1 自然環境(山野・河川・動物・植物・その他) [ ] ② 歴史(出来事・史跡・先人・その他) [ 中馬街道の歴史 ] ③ 文化(芸能・芸術・民話・風習・その他) [中馬馬子唄踊り・曾木打囃子・作陶] 4 地場産業(農業・水産業・伝統工芸・その他) [ ] 5 地域との積極的な関わりをつくる活動等 [ ] 6 その他( ) [ ]				
複数年継続するための工夫改善	第1学年は馬子唄踊り、第2学年は打囃子、第3学年は陶芸をテーマにし、総合的な学習の時間に地域学習として位置付けるとともに、地元の講師に指導を依頼したり、発表会には地域の方もお招きしたりすることによって、地域からの厚い支援を受けている。				

1 ねらい

地域に残る歴史的な街道を核として地元の伝統文化に触れ、郷土の人々の生き方を学習する。その学習を通して、自ら課題を見つけ、学び、考え、課題を解決するための情報の集め方・調べ方・まとめ方・報告や発表・討論の仕方やものの考え方を身に付けるとともに、ふるさとを愛する心を育てる。

2 活動の概要

- ・4月「生き方教室」  
地域学習の講師から、学年ごとに取り組む伝統芸能・文化に関する概要や携わる思いについて学ぶ。
- ・5月「中馬街道整備」  
校区の老人クラブと協力し、除草や倒木除去などの中馬街道の整備を行い、終了後中馬街道の歴史を学ぶ。
- ・4月～11月「中馬の時間」(各学年)  
第1学年は「中馬馬子唄踊り」、第2学年は「曾木打囃子」、第3学年は「作陶と焼成」を、地域講師の指導で学ぶ。
- ・11月19日「中馬発表会」  
講師・地域住民・保護者などを招き、学習の成果を発表する。



第2学年 打囃子

第1学年 中馬馬子唄踊り 第3学年 作陶

3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

- ・「中馬街道整備」での老人会との協力、「馬子唄踊り」と「打囃子」はそれぞれの保存会、「作陶と焼成」は校区在住の陶芸家に指導を依頼し、講師も気軽に来校できるようになっている。
- ・校区の住民との触れ合いにより、公民館が主催する行事の手伝いや地域清掃に、多くの生徒がボランティアとして参加している。曾木町で行う「もみじのライトアップ」に中学生が招かれ、合唱を披露している。

4 活動を通しての児童生徒の変容

- ・学校は山中の農村地帯にあるため、自然が豊かな反面、過疎化も深刻で不便な地域である。しかし、生徒はこの地域をとっても愛している。例年市内保護司会との交流が行われ、地域に対する思いについて質問されるが、多くの生徒が「将来もここに住みたい。この地域を便利にしたい。にぎやかにしたい。」と答える。第2学年の「打囃子」の指導をする講師も「中馬の時間」を学んだ卒業生であり、3年間の「中馬の時間」によって、地域への愛情は着実に高まっている。